

---

○議長（柿澤 潔） 開会に先立ち、ご報告申し上げます。

塩尻市の小口代表副広域連合長及び安曇野市の宮澤代表副広域連合長が公務のため本日の会議を欠席する旨の届け出があり、米窪副市長及び村上副市長が代理出席しておりますので、ご承知願います。

また、塩尻市の永田公由議員が公務のため本日の会議を欠席する旨の届け出がありましたので、ご承知願います。

---

午後 1時30分開会

○議長（柿澤 潔） これより平成23年松本広域連合議会11月定例会を開会いたします。

現在までの出席議員は23名でありますので、定足数を超えております。

よって、直ちに本日の会議を開きます。

最初に、報告事項を申し上げます。

広域連合長より議案が4件提出されております。あらかじめ皆さんのお手元にご配付申し上げてあるとおりであります。

本日の議事は、お手元の議事日程をもって進めます。

---

#### 日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（柿澤 潔） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第122条の規定により、議長において4番、中原輝明議員、5番、藤原廣徳議員、6番、大久保真一議員を指名いたします。

## 日程第2 会期の決定

○議長（柿澤 潔） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日1日といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（柿澤 潔） ご異議なしと認めます。

よって、今期定例会の会期は、本日1日と決定いたしました。

---

## 日程第3 議案第1号～議案第4号

○議長（柿澤 潔） 日程第3、議案第1号から第4号までの以上4件を一括上程いたします。

当局から提案理由の説明を求めます。

菅谷広域連合長。

○広域連合長（菅谷 昭） 本日ここに平成23年松本広域連合議会11月定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様方には、おそろいでご出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、冒頭、野田新政権に関連して申し上げます。

去る8月30日、民主党代表選を経て、野田佳彦新首相が誕生しました。野田新政権は、国難である震災復興が喫緊の課題であることから、「東日本大震災復興交付金」の創設を柱とする本格的な復興対策費を盛り込んだ総額12兆円の第3次補正予算案を国会に提出したところであります。新政権には、この補正予算案の早期成立を目指し、震災復興、ヨーロッパ金融不安等による円高や景気の低迷など、当面の諸課題に、野党の協力を得ながら取り組み、国政運営に万全を期すようお願いいたします。

それでは、提案説明に先立ちまして、地方や当広域連合を取り巻く情勢に関連して、若干述べさせていただきます。

初めに、長野県政に関連して申し上げます。

阿部知事は、長野県議会9月定例会において、急激な円高などに対応する緊急経済対策費57億円などを持った補正予算を成立させました。補正予算の成立を受け、災害時の緊急輸送路や砂防施設、身近な道路など、県民生活の安全・安心につながる社会資本整備を進めるとともに、長野県中部の地震により被災した施設の復旧費として、松本市の島立デイサービス

センターや中条保育園などの復旧に助成するほか、原子力発電所の事故を受け、空間放射線量をはかるモニタリングポストを、現在の長野市1カ所から、松本市や大町市などへ新たに6カ所増設するとしております。

また、去る9月3日から3日間、県の事業を見直す「信州型事業仕分け」を実施し、55件を対象に判定した結果、抜本的見直し4件、要改善32件などとされたところであります。今回の「信州型事業仕分け」は、公募の県民委員を含む仕分け人が事業を検証し、無作為抽出で選ばれた県民判定人の多数決により、事業の必要性などを判定したもので、県としての最終判断は、仕分け結果を尊重しつつ、庁内での検討や、必要な場合には市町村など関係機関と十分な調整を行った上で、最終判断を行い、県の来年度予算に反映させるなどとしております。

また、去る10月23日には「松本地域知事と市町村長との意見交換会」が開催され、松本地域の各市村の特色ある取り組みと課題について、県と市村が認識を深めたところであります。

阿部知事は、今回の「信州型事業仕分け」を初め、地域におけるさまざまな県政課題について、今後も市町村の現場の声に耳を傾け、それぞれの市町村の特色あるまちづくりの実現にご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

次に、松本広域連合規約の変更について申し上げます。

このことにつきましては、去る7月8日に開催した総務民生委員協議会でご協議いただきましたとおり、旧伝染病舎を解体し、用地のすべてを独立行政法人国立松本病院機構まつもと医療センターに貸し付けることに伴うものであります。規約に定めております広域連合の処理する事務を、「旧伝染病舎の管理に関する事務」から「旧伝染病舎跡地の管理に関する事務」に変更するもので、本日の総務民生委員協議会でご協議いただき、関係市村の12月定例会で議決をいただき、県知事の許可を受けるものでございます。

また、関連して、必要となる広域計画の改定につきましては、県知事の許可後、直近の議会に議案を提出いたします。

次に、松本広域連合事務所の移転について申し上げます。

松本市は、かねてから合併町村の事務事業を本庁に統合移管することとしており、本庁が狭隘となるため、当広域連合の事務所について、現在の大手事務所から波田支所等への移転について打診がありました。

当広域連合といたしましては、必要な事務スペースを十分確保でき、波田支所の議場等を有効に活用することができることから、波田支所への移転が妥当と考えますので、本日の総

務民生委員協議会でご協議いただくこととしております。

次に、常備消防力整備に係る中長期構想について申し上げます。

松本広域消防局は、平成5年に非常備地域の解消と松本地域を一体化した広域消防体制を確立するため発足し、19年目を迎えたところであります。

今後到来いたします超少子高齢型人口減少社会に対応できるよう、広域的な観点で合理的かつ効果的な消防体制を構築するため、本構想を策定するもので、平成21年度には、現行の消防力を検証するため、消防科学総合センターに「常備消防力最適配置」に係る調査を委託し、報告を受けたところであります。

中南信地域の消防の広域化協議のため、本構想の策定を中断しておりましたが、本年、この協議が休止となりましたので、検討を再開し、本日の消防委員協議会に素案を報告し、来年の2月定例会までに成案としてまとめていきたいと考えております。

次に、緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練について申し上げます。

この訓練は、今月の1日から2日間にわたり、信州スカイパーク周辺を会場に開催されたもので、長野県中部を震源とするマグニチュード7.0の地震が発生し、松本市、塩尻市、安曇野市で震度6強を観測、甚大な被害が発生したとの想定のもと、総務省消防庁、長野県、県内外の消防機関、自衛隊、県警察本部、消防関係機関などが参画し、行われました。

訓練内容は、被災地市長が県知事に応援を要請し、災害情報の収集、障害物の除去、倒壊建物やトンネルなどからの救出、市街地における空中からの消火、広域医療搬送などの訓練を実施し、松本地域が被災地となった場合の受援体制の検証と緊急消防援助隊相互の連携強化をねらいとしております。

次に、信州まつもと空港の活性化とフジドリームエアラインズへの運航支援について申し上げます。

夏の行楽シーズンの8月には、「おひさま」効果や路線の認知度の向上により、福岡線の利用状況が82.1%と、FDAが就航して以来、最も高い月間利用率となり、9月以降も70%以上の月間利用率を維持しています。このことは、好調な札幌線に加え、利用が伸び悩んでいた福岡線につきましても、ご利用いただける環境が整いつつあるとの手ごたえを感じているところでございます。

福岡線につきましても、去る10月5日に、信州まつもと空港利用促進の一環として、福岡線経由九州新幹線を活用した鹿児島市との都市間交流事業の契機とするため、私自身が鹿児島市へ伺い、森博幸市長へトップセールスを行ってまいりました。

また、長野県市長会でも、10月6日から7日にかけて鹿児島市で開催されました第73回全国都市問題会議に、空港利用の促進を踏まえ、福岡便を利用しての参加を計画していただきました。代表副広域連合長の小口塩尻市長、宮澤安曇野市長にも福岡線を利用し、参加いただいたところでございます。

当広域連合といたしましても、引き続き信州まつもと空港利用促進協議会の一員として、県、関係市村、地域経済界等と一体となって、利用促進活動により一層積極的に取り組んでまいります。

それでは、ただいま上程されました条例改正2件、補正予算1件、決算の認定1件、計4件の提出議案につきまして、一括してご説明申し上げます。

議案第1号の松本広域連合消防本部及び消防署設置条例の一部改正は、松本市第19次住居表示整備事業の実施に伴い、芳川消防署の管轄区域を改正するものでございます。

次に、議案第2号 松本広域連合旧伝染病舎管理基金条例を廃止する条例について申し上げます。

独立行政法人国立松本病院機構まつもと医療センターに用地を貸し付けるため、旧伝染病舎を解体することに伴い、この病舎の管理資金に充てる基金の設置目的が失われますので、本条例を廃止するものでございます。

次に、議案第3号 平成23年度補正予算について申し上げます。

今回の補正予算は、平成22年度決算による繰越金の追加を初め、県の元気づくり支援金の補助事業採択に伴う財源の整理のほか、旧伝染病舎解体工事に係る経費、安曇出張所隣地取得に係る調査費、緊急消防援助隊野営用資機材購入経費など、新たに発生した事務経費等を計上しております。補正予算の規模でございますが、一般会計で8,341万円を追加し、補正後の予算規模を44億7,675万円とするものでございます。

次に、議案第4号 平成22年度決算について申し上げます。

松本広域連合の平成22年度決算の概要でございますが、一般会計の決算額は、歳入が44億6,202万円、歳出が42億6,353万円で、形式収支、実質収支ともに1億9,849万円余の黒字決算となりました。特別会計では、歳入が2,110万円、歳出が1,186万円で、形式収支、実質収支ともに924万円の黒字決算となりました。

このほか、広域連合長の専決処分事項の指定にかかわるもの2件をご報告申し上げます。

以上、本日提案いたしました議案等についてご説明申し上げますので、よろしくご審議

を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（柿澤 潔） 次に、監査委員から、平成22年度松本広域連合歳入歳出決算に対する審査意見の報告を求めます。

小林代表監査委員。

○代表監査委員（小林かつ代） ただいまご紹介をいただきました監査委員の小林でございます。

平成22年度松本広域連合一般会計及びふるさと基金事業特別会計の歳入歳出決算並びに基金の運用状況について、地方自治法第233条第2項の規定に基づき、去る8月5日に永田監査委員と審査を行いましたので、その意見の概要をご報告申し上げます。

審査の結果、歳入歳出決算及びその附属書類並びに基金の運用状況に関する調書は、いずれも法令で定める様式により作成されており、その計数等につきましても、関係諸帳簿と符合し、正確であると認められ、かつ、各基金も、その設置目的に沿って運用されており、適正に管理されているものと認められました。

さらに、意見として、健全運営に資するインターネットオークションの継続、ふるさと基金事業のさらなる有効事業の検討及び介護認定の公平な審査の実施について申し上げるとともに、日々の業務への取り組みに対する感謝の旨を申し上げます。

なお、詳細につきましては、広域連合長に提出し、ご配付申し上げます審査意見書をごらんいただきたいと存じます。

以上を申し上げて、決算審査の意見の概要とさせていただきます。

○議長（柿澤 潔） ただいま当局から上程議案に対する説明があり、また監査委員から決算審査の意見の報告がありました。

---

#### 日程第4 松本広域連合行政一般に対する質問

○議長（柿澤 潔） 日程第4、松本広域連合行政一般に対する質問を行います。

現在までの発言通告者は、20番、池田国昭議員1名であります。

池田国昭議員の発言を許します。

20番、池田国昭議員。

○20番（池田国昭） それでは、通告に従って、消防行政と今後の広域行政について、問題

提起という意味合いが今回は強いかと思いますが、質問したいと思います。

危機管理に関しては、最近で言えば1995年の1月17日の阪神・淡路大震災を契機に、大幅にこの松本広域連合も、そして全国的にも見直しがされてまいりましたが、その後も、水害等を含め大きな災害を受けるたびに、その見直しは繰り返されて、今日を迎えております。その一つが、消防の広域化だったと思います。

しかし、この消防の広域化は、いわばスケールメリットの合理化で消防力不足を補うという、しかもそれを地方に押しつけるというやり方で、長野県では、そしてこの中南信でも、当然のこととして頓挫しました。私としては、率直に言って安堵しているところです。

さて、いよいよ松本広域連合として、本来の消防力の強化ということが議論することができる、いわば足元を見詰めるというか、危機管理の体制の強化に改めて取り組むことが求められるというふうに思います。そこで、今回は問題提起ということも含めて、お伺いをしたいと思います。

1つは、何よりも消防力の強化という問題です。

今、予想されているこの松本広域連合圏域の中の地震といえば、既に私が申し上げるまでもない大きな規模が予想されるわけですが、しかも、この地震は同時多発的にその被害が拡大するおそれがある。そして、いわば他の地域からの応援をもらう、他の消防組織との共同連携に依拠するというのももちろん可能ですし、必要ですが、しかし、それも難しいということが考えられるような、そういう事態です。そういう点では、改めて私は松本広域連合の独自の体制の強化が必要だというふうに考えます。

以前にもこの消防力の強化の問題は取り上げましたけれども、松本広域連合の消防力は、この間の議論の中で、最新の数字で言うと、2008年の2月現在で、消防署、それからポンプ車、救急車は、いわゆる基準に照らして100%、それらの設備等にかかわっての消防職員の充足率というか、消防力の到達点は、当時で90%というふうに言われておりました。私の記憶ですが、人員にして、あと6人とか5人とか足りないという数字も出ておりましたけれども、いずれにしても、そのまま現在に至っている。そこで、その後どのようにするつもりなのかということが今回の質問であったわけですが、私の質問の通告及び内容のすり合わせの後に、この常備消防力整備に係る中長期構想、この素案というものが出来てまいりました。ちょっと前後してしまっただけですが、先ほど連合長からも、合理的かつ効果的に見直すという提案説明がございましたが、1回目は、この質問の通告のとおり質問申し上げたいと思います。

また、車両に関して申し上げますと、車両は100%と。これを読むと、7台減らすとか、いろいろ書いてある、そのことは後ほどに触れるとして、さきの消防委員会の視察では、最新の2種類の泡による消防車両の見学をしてきたわけですが、私は、そうした大型の車両ではなくて、松本広域地域の地形の実情に合った車両の配置が必要と考えますが、これについてどのように考えるかお聞きしたいと思います。

次に、松本広域連合の処理する事務の中に調査研究に関する事務というのが幾つかございまして、その中に広域的な観光振興に関するという項目がございます。そのことに関連してお聞きします。

今年、「おひさま」効果で、ロケ地の塩尻市、安曇野市、そして松本市に限らず、この広域圏域全体が、この「おひさま」効果で多くの観光客の方がお見えになり、現在も、その効果と言っては何ですが、その効果が続いていると、非常にうれしい限りです。

そこで、お聞きしたいのは、1つは、この松本広域圏内全域の観光ポータルサイトの作成についてです。先日も、塩尻市で行われた中信4市の研修会の中で同様の問題提起があり、今回はそれにも関連しての質問ですが、ぜひ広域圏域全体の観光振興、観光案内に関する入り口、まさにポータルサイトですね、の設置を求めます。

現在のこの松本広域連合のホームページで観光関係の分野に入っていきますと、実際には広域連合に加盟する自治体の観光のところにリンクするだけで、広域圏全体の観光振興という観点からの作成にはなっておりません。ぜひ各自自治体がみずからの施策として、この観光関係のホームページの充実はもちろんのことですが、ぜひ私は、この松本広域連合の中でも、この点での研究調査、提案も含めて、必要ではないかということをお申し上げますが、お答えください。

また、もう一つ、これはまさにまだ私も質問を通告した後、調べていく中でのこともありますが、ぜひこの広域圏内の各公共交通の交通網が各自自治体ごとに今、つくられました。そんな中で、各自自治体にはいろいろなあり方が、形態がありますけれども、そのいわば自治体境界にかかわる部分、乗り入れ等を含めて、やはり松本広域連合としても、それから先ほど申し上げた観光施策の振興という立場からも、全体のこの公共交通のあり方の研究も、将来の計画に入れて、してもいいのではないかというふうに思いますが、この点についてお聞きして、第1回目の質問といたします。

○議長（柿澤 潔） 角田消防局長。

○消防局長（角田啓蔵） 初めての登壇でございます。どうぞよろしくお願いたします。

池田議員の質問にお答えいたします。

職員の配置の関連でございますけれども、広域連合長が提案説明の中でも触れました常備消防力整備に係る中長期構想を策定する上で、今後の人員配置についても検討しており、本日開催の消防委員協議会で中間報告をさせていただく予定でございます。

ご質問の職員の充足率を100%にする計画は、現在ございませんが、通常の災害につきましては、現状の職員体制で対応できるものと考えております。

また、大規模災害に備えては、緊急消防援助隊の活用や関係市村の消防団との連携・結束をより強め、地域住民の皆様の災害対応力をさらに高めていただくことに重点を置いていきたいと考えております。

次に、消防車両の配置についてお答えいたします。

道路狹隘対策や山間地域の災害対応には、最近開発が進んでおります機動力の高い小型の消防車両が有効であり、機動性・効率性向上の観点で、早期に整備することとしており、このことにつきましても、本日の消防委員協議会へお示ししてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○議長（柿澤 潔） 小林事務局長。

○事務局長（小林一博） 初めての登壇でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

池田議員の広域的な観光振興についての観光ポータルサイトの質問にお答えいたします。

松本地域の観光事業は、関係市村でそれぞれ特色を持った取り組みを行っていますが、広域連合の中でも、市村との連携、協力のもと、松本地域を一体とした広域観光について調査研究を進めているところでございます。

本年は、「おひさま」効果などで、ロケ地を初め、松本地域へ多くの観光客の皆様を訪れていただきました。この「おひさま」ブームを一過性のものに終わらせることなく、今回増加した観光客の皆様をいかにリピーターとしてお迎えできるかが今後の課題でもあります。

松本広域連合のホームページでは、松本広域観光ガイドを開設し、エリアごとの情報提供を行っておりますので、現時点では、費用の面からも、新たな観光ポータルサイトを開設する考えはございません。

この観光広域ガイドをさらに充実する目的で、市村の観光スポット、特産品やグルメ情報、そして観光モデルコースなどをデジタルパンフレットとして掲載する準備を進めているところでございます。

今後とも、関係市村のご意見、ご要望も取り入れながら、より統一感のある広域的な観光振興となるよう取り組んでいきたいと考えております。

続きまして、公共交通についてのご質問にお答えいたします。

地域の公共交通のあり方につきましては、現在、地球温暖化の防止といった環境問題から、地域住民の足の確保といった福祉的な側面まで含めまして、さまざまな観点から検討され、各自治体独自の推進がなされているところであります。

当広域連合管内の市村におきましては、観光と一体的な周遊バスを運営されている地域がございます。その利用者は、観光で訪れた方ばかりでなく、周辺の住民の方も利用しており、生活の足の確保も兼ねているものと思われまます。

既に各市村では特色ある公共交通の運行が実施されている現状ではありますが、今後、関係市村の要望があれば、その協議の場に参加し、調査研究をしていくことは可能と考えております。

以上でございます。

○議長（柿澤 潔） 20番、池田国昭議員。

○20番（池田国昭） それでは、2回目は簡潔に申し上げたいと思います。

確かに、先ほどの質問の中でも触れましたが、今回私の質問と、出てきたこの常備消防力整備に関する中期構想と、ちょっとタイミングのずれがあったものですから、私がこれを先に見ていれば、別な質問をしたかとも思うんですけれども、来年の2月議会までにこの素案をみんなで検討していくということですので、私もその方向で議論には参加をしていきたいというのが大前提ですけれども、ちょっとそれにしても、今の答弁は余りにもそっけないと言うと失礼かもしれませんが、もう少し私が直接触れていることについて答えてもらえたらというのが率直な思いです。

さっきも言いましたが、今の人員はそのままにしながら、台数を減らすということとの関連で、果たしてそうした、ある意味、詳細な検討が必要なことはもちろんですけれども、私は、後退の危険性がある中身かなと。今日もこの後、私も消防委員会に属しているんで、そちらのほうで質問をしたいと思っておりますけれども、ちょっとそういう感があって、残念に思っている。少なくとも、私が直接質問をしたことについては、もうちょっと答えてもらえたらと思います。この答弁は必要ないです。

今回、東日本大震災の場合は、それこそ今までにない大きな被害、いわば自治体ごと、地域ごとすべて津波によって流されると、震災の被害もさることながら。そんな中で、私も初

めて聞いた言葉ですが、津波火災とか、そういう火災にかかわるものがたくさんありました。まさにその街の中、その地域の消防体制そのものが壊滅的な被害を受けたと。消防団員の方が、そうした中で貴重な命、もちろん関係者も含めてですけれども、命を失うということもありまして、まだ阪神・淡路のときのような、その教訓が何なんだということが今の時点ではまだ明確になり切れていない、そういう面もございます。恐らくこれから救援、復興が進む中で、私は今回の東日本大震災、その教訓が何かということが明らかになると思いますので、それと並行しながら議論を進めていきたいなというふうに思います。このことについてはこれだけにしておきます。

あと、残った問題の1つですけれども、私が申し上げている松本広域連合としての観光の振興という立場からのポータルサイトは、本格的なポータルサイトを松本市で作らなくても、ぜひ、先ほど統一感のあるというお話でしたけれども、現況は、さっきも申し上げましたが、各自治体にリンクするだけです。公共交通ともかかわりますけれども、その自治体の境界境を越えた形でのいわば広域連合全体の中のポータルサイトが必要というのが私の提起です。これは、きょう出席の議員の方にも私は共感をしていただける中身かというふうに思っています。

これは直接関係ないかもしれませんが、松本市の中のある団体が中心となってつくられている観光ポータルサイトがございます。そのつくられた当時は、非常に注目も受け、予算もついて、かなり力を入れてつくられたポータルサイトでしたが、ごらんになっていただければおわかりのとおり、松本市の観光のポータルサイトと言いながら、ついこの間合併をした町の部分が抜けたまま現在に至って発信をされているという事態です。これは松本市の問題でもありますけれども、そうしたことも含めて、私は、先ほど申し上げたようなことを今後とも考えていっていいのではないかと。これも意見として申し上げておきます。

公共交通については、先ほどそういう答弁があったんで、その方向で、みんなで検討する必要があるものが出たら、やっぱりそういうときこそ私は広域連合、そういう役割かなというふうに思いますので、そのことを申し上げて、今回は2回目の質問はなしで、意見を申し上げ、問題提起も大きくしながら、質問を終わりたいと思います。

以上です。

○議長（柿澤 潔） 以上で池田国昭議員の質問は終結し、松本広域連合行政一般に対する質問を終結いたします。

---

#### 日程第5 議案に対する質疑

○議長（柿澤 潔） 日程第5、議案第1号から第4号までの以上4件に対する質疑につきましては、発言通告者がありませんので、質疑は終結し、直ちに議案の委員会付託を行います。

ただいま議題となっております議案第1号から第4号までの以上4件につきましては、一層慎重審議を期するため、お手元にご配付いたしてあります委員会付託案件表のとおり、それぞれ所管の常任委員会に付託いたします。

本会議は、委員会審査等のため休憩し、委員会審査終了後、直ちに再開いたします。

暫時休憩いたします。

午後 2時10分休憩

午後 4時20分再開

○議長（柿澤 潔） 休憩前に引き続き会議を開きます。

---

#### 日程第6 委員長審査報告

○議長（柿澤 潔） 日程第6、議案第1号から第4号までの以上4件を一括議題として、委員長の報告を求めます。

最初に、総務民生委員長、草間錦也議員。

○総務民生委員長（草間錦也） 総務民生委員会の委員長報告を申し上げます。

委員会は、付託されました議案3件について、慎重に審査をいたしましたので、その結果についてご報告をいたします。

最初に、議案第2号 松本広域連合旧伝染病舎管理基金の条例を廃止する条例につきましては、異議なく可決すべきものと決しました。

次に、議案第3号 平成23年度松本広域連合一般会計補正予算（第2号）中、当委員会関係補正予算につきましては、異議なく可決すべきものと決しました。

次に、議案第4号 平成22年度松本広域連合歳入歳出決算の認定について、当委員会関係歳入歳出決算につきましては、異議なく認定すべきものと決しました。

以上で当委員会の報告といたします。何とぞご賛同賜りますようよろしくお願いいたします。

す。

○議長（柿澤 潔） 次に、消防委員長、中原輝明議員。

○消防委員長（中原輝明） ご指名によりまして、消防委員会の報告を申し上げます。

委員会に付託されました議案3件につきましては、慎重に審査をいたしましたので、この結果についてご報告申し上げます。

議案第1号 松本広域連合消防本部及び消防署設置条例の一部を改正する条例につきましては、松本市芳川地区の住居表示整備事業実施に伴い、芳川消防署の管轄区域に「村井町西1丁目及び2丁目」を追加するものであり、異議なく可決すべきものと決しました。

次に、議案第3号 平成23年度松本広域連合一般会計補正予算（第2号）、当委員会関係補正予算につきましては、異議なく可決すべきものと決しました。

次に、議案第4号 平成22年度松本広域連合歳入歳出決算の認定について、当委員会関係決算につきましては、異議なく認定すべきものと決しました。

以上をもって当委員会の報告といたします。何とぞご賛同賜りますようお願い申し上げます。

○議長（柿澤 潔） 以上をもって委員長の報告は終わりました。

委員長の報告に対し質疑のある方の発言を求めます。

質疑はありませんか。

（発言する者なし）

○議長（柿澤 潔） ないようでありますので、質疑は終結いたします。

次に、以上の案件に対し意見のある方の発言を求めます。

意見はありませんか。

（発言する者なし）

○議長（柿澤 潔） ないようでありますので、これより採決をいたします。

議案第1号から第4号までの以上4件につきましては、委員長の報告のとおり決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（柿澤 潔） ご異議なしと認めます。

よって、以上の案件は委員長の報告のとおり可決及び認定されました。

○議長（柿澤 潔） 以上をもって今期定例会に付議された案件は全部議了いたしました。

これをもって本日の会議を閉じ、平成23年松本広域連合議会11月定例会を閉会いたします。  
ご苦労さまでございました。

午後 4時27分閉会